

第4部

地域コミュニティ計画

1 地域コミュニティ計画の位置づけ

地域コミュニティ計画は、少子高齢化に伴う人口減少、雇用や暮らしの不安などを踏まえて、これから先の地域の展望を地域住民自らが考え、推進していくために策定した計画です。

地域社会の基礎単位である連合自治会においては、この計画に沿って従来の活動を継続する一方で、まちづくりの担い手育成や、地域の特性を活かした持続可能なコミュニティづくりを目指していきます。

本計画は、第1次美郷町長期総合計画におけるコミュニティ計画の検証を踏まえて策定されたものであり、地域住民の主体な取り組みを推進していくことで、住民と行政との「協働」の取り組みを実現するものです。

2 地域コミュニティ計画策定の経緯

平成27年10月より、連合自治会が主体となって今後10年間の自分達の地域の「人」「暮らし」「伝統・文化」「自然」「農・商業」等様々な観点から検証・検討を行い、平成28年3月に全13連合自治会で策定されました。今後の計画推進にあたっては、町はもちろん、国・県等の各種助成・補助制度などを十分活用し、地域住民と町が一体となって計画を推し進めていくものとします。



3 連合自治会の構成

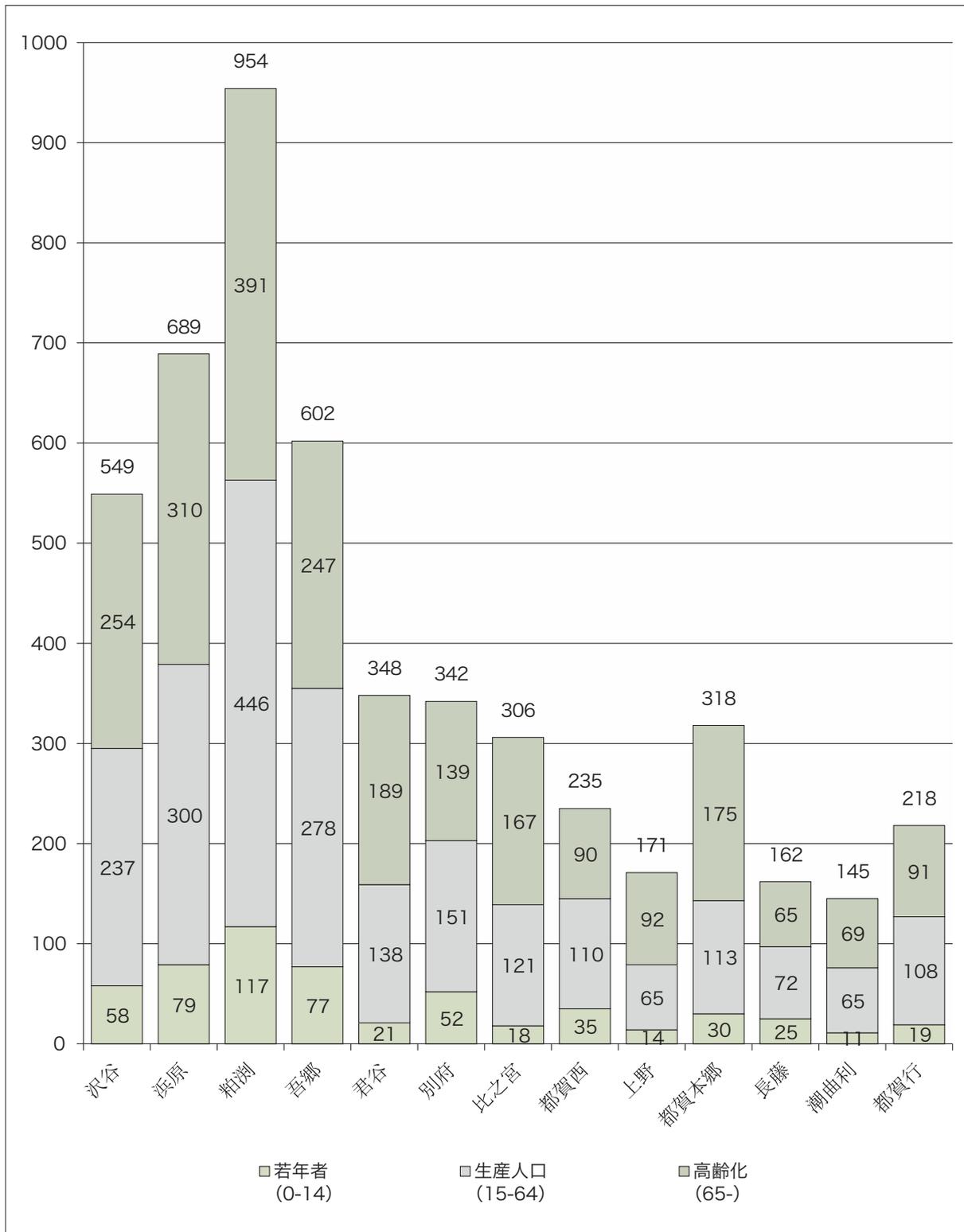
当町は13連合自治会（104自治会）で構成されています。

◎連合自治会別世帯数／人口数 （平成28年4月末時点）

連合自治会名	世帯数
沢谷連合自治会	232世帯／549人
粕淵連合自治会	448世帯／954人
君谷連合自治会	177世帯／348人
比之宮連合自治会	138世帯／306人
上野連合自治会	83世帯／171人
長藤連合自治会	73世帯／162人
都賀行連合自治会	101世帯／218人
浜原連合自治会	328世帯／689人
吾郷連合自治会	261世帯／602人
別府連合自治会	141世帯／342人
都賀西連合自治会	101世帯／235人
都賀本郷連合自治会	172世帯／318人
潮・曲利連合自治会	73世帯／145人
合 計	2,328世帯／5,039人

◎連合自治会別人口構造

(平成28年4月末時点)



◎連合自治会別人口構成割合

(平成28年4月末時点)





沢谷地域

連合自治会

■キヤッチフレーズ
笑顔で安心・出会いに感動・
みんなが主役のさわだに物語

地域データ

人口/549人
(男 268人、女 281人)
高齢化率/46.3%



地域の資源

【自然環境】

千原温泉、塩の元温泉、酒谷の湯、沢谷川、蛍、カジカ、滝、酒谷の名水、巨木 等

【生活・文化・歴史】

銀山街道関連の史跡、泥落とし行事、猿丸太夫の娘の墓、熊見横穴群、拓土の碑、神楽、シャギリ、盆踊り、秋祭り、4寺と3社 等

【食】

まき、そば打ち、日本ミツバチ、山野草、キノコ、ジビエ料理、川魚 等

【人・団体・企業】

つくし会、山くじら倶楽部、たんぼぼクラブ、マーマクラブ、実のなる会、酒楽会、しゃくなげパーク花の谷保存会、三興会青年部、千原神楽団、おもちゃ箱、青色防犯パトロール隊、木積剣道クラブ、夢追いクラブ、沢谷中央市場、森林インストラクター、銀山街道ガイド、そばの花、古布細工、ガラス細工

【活動】

お元気サロン、縁側サロン、桜街道ライトアップ、夜桜茶屋、沢谷川の沢登り、しゃくなげ祭り、もみじまつり、酒谷八幡宮のオオイチョウライトアップとモミジ街道ライトアップ、とんど焼き、七夕映画祭、元気祭り、ふれあい学級

地域の課題

- ・高齢化により自治会住民の減少と空き家の増加が進み、地域コミュニティが低下している。
- ・イノシシ、猿等の有害鳥獣被害がどんどん増えており、営農意欲が低下している。
- ・竹細工やわら細工などの伝統技術を持った高齢者が少なくなっており、その伝承活動が進まない。
- ・独居の高齢者が増えて、災害時の避難誘導や病気、経済問題などの不安が増加している。
- ・移動手段を持たない高齢者が多く、老人会や地域の集まりに出かける人が減少した。
- ・自治会会員が減少したが、葬儀や常会など活動の維持継続が難しい地区がある。
- ・女性や若者を中心に福祉と安全安心、コミュニティ活動を担うグループとリーダーが少ない。
- ・地域の資源を活用した特産品開発や田舎ツーリズムを進める人材が少ない。

地域の将来像

- ・ 移動手段の確保や災害時の互助体制づくりなど、高齢者の支援ネットワークづくりによる安全安心な地域
- ・ 縁側サロンなど地域の新しい生業づくりとインターネットを活用した地域情報の広域的発信による開かれた地域
- ・ 地域資源を活用した田舎ツーリズムなど新しい出会いづくりと、沢谷ファン倶楽部をはじめ交流人口拡大による賑わいの地域
- ・ 食と健康をテーマにした健康づくりと、地域の食文化を子供たちに伝えて高齢者から子供までみんなが参加する地域
- ・ 桜街道やモミジ街道、しゃくなげパークなど、地域の風景と景観を住民が主役になって守り伝える誇りの持てる地域
- ・ 有機農産物や山菜、薬草など地域ブランドとして育てて、四季を通じた特産品として販売できるスモールビジネスによる元気な地域



行動計画

- ・ お元気サロンや青パト隊の見守り活動、防災訓練などによる高齢者の生活サポートの推進
- ・ ホームページの活用と出身者会との交流、田舎ツーリズムなど多彩な交流による交流人口拡大
- ・ 行政と連携した空き家調査、登録によるU・Iターン受け入れと新たな担い手の育成
- ・ 検診率向上と料理教室、ウォーキング教室開催による健康寿命を伸ばす取り組み
- ・ 桜街道やモミジ街道、しゃくなげパークなど地域の誇れる風景をみんなで守る意識醸成と住民活動を進めるとともに、それを活用した交流イベントの開催
- ・ 遊休地を活用した薬草、薬樹の栽培やヒマワリやそばの栽培、養蜂など地域の特性を生かした特産品づくりと体験ツーリズムの開催
- ・ 地域の福祉とコミュニティを支えるグループや特産品開発、田舎ツーリズムを進めるグループとリーダーの育成





浜原地域

連合自治会

■キヤッチフレーズ

浜原地区は、『健康で・楽しく・笑いのある・豊かな・あかるい生活』ができる街。そして、『安全・安心な町づくり』、『生活の向上・福祉の充実』を目指します。

地域データ

人口/689人
(男 312人、女 377人)
高齢化率/45.0%



地域の資源

【自然】

江の川自然公園、青杉城跡（佐和公園）、信喜 毘沙門天、桂根八幡宮、銀山街道（半駄ヶ峽）

【文化】

しゃぎり囃子、盆踊り、隣保館

【人】

商工振興会、はまなす会、むつみ会、青杉会、お茶目の会、せおう会、交友会、民生・児童委員、地区社協、体協、浜原カヌー音頭保存会、千絵乃会

【食】

米、山菜、野菜、鮎、お茶、

【景観】

浜原ダム、妙用寺の桜とツツジ、江の川と三瓶山、カヌーの里

【施設】

特別養護老人ホーム（双葉園）



地域の課題

- ・ 少子高齢化、人口・世帯数の減少
- ・ 雇用の場の減少
- ・ 限界集落的自治会の葬祭の運営が難しい
- ・ 水害への不安
- ・ 連合自治会と各種団体との協調の必要性（地区社協、民生児童委員、体協ほかとの連携）
- ・ 空家の増加
- ・ 休耕農地の荒廃化
- ・ 高齢者のイベント参加率が低い、高齢者のコミュニケーションが希薄
- ・ 地域内の道路網の整備

地域の将来像

- ・ 高齢者が健康で住みよい地域
- ・ 住んでいる人が楽しい地域
- ・ 人間が増えてお互いが話し合える地域



行動計画

- 1、人口の増加
 - ・ U I ターン者の推進対策
 - ・ 若者住宅の建設推進
 - ・ 企業の誘致、起業の推進についての検討
- 2、空き家・遊休農地の解消
 - ・ 行政と連携を取りながら I ターン者受け入れの検討
- 3、組織強化
 - ・ 男の料理教室
 - ・ 人的連携 個人の負担を減らす
 - ・ 単位自治会再編成の検討
 - ・ 老人クラブの設立
- 4、住みよい福祉の里づくり
 - ・ 道路整備の陳情
 - ・ 他の地域の調査
 - ・ 地域内住居案内図の作成





粕渚地域

連合自治会

■キヤッチフレーズ
老いも若きも元気な地域を！
できることからはじめよう！

地域データ

人口/954人
(男 443人、女 511人)
高齢化率/41.0%



地域の資源

【人・活動】

青パト隊の活動、鴨山焼、キルト、諸団体の窓口が集中

【生活、文化、歴史】

商店街、みさと館（図書館）、银山街道、鴨山公園、鴨山記念館、浄土寺、亀遊亭、イベント会場（花火大会、産業祭）、遊休農地

【観光、景観】

桜公園、霧の海、湯抱温泉、川、野間栗園、ゴールデンユートピア、鉄道カメラスポット

地域の課題

- ・高齢化の進行……独居老人の増加、老老介護の増加、安否確認の充実
- ・人口の減少……未婚、晩婚化、若年層の転出、自治会の再編成
- ・商店の減少……雇用の減、後継者不足、店主の高齢化、購買客の減少、空き店舗の増加
- ・繋がり意識の不足……街部と周辺部の一体感不足、地域づくりに寄与する意識の醸成、地域行事の充実、イベントへの不参加、連帯意識の向上、交流事業の充実
- ・桜公園の整備方法……資金不足で整備方法の再検討が必要
- ・活動拠点の確保……集まりの場・活動拠点の確保、わいわいサロンの継続



地域の将来像

- ・子どもからお年寄りまでみんなが安心・笑顔で暮らせる安全で住みよい地域
- ・住民が絆を深める伝統ある行事の継承と地域文化を大切にする地域
- ・活気があり、明るく魅力のある地域
- ・U・Iターン者が住みたいと思う地域

行動計画

- ① 子どもからお年寄りまでみんなが安心・笑顔で暮らせる安全で住みよい地域
 - ・安心・安全な地域……健康教室、講演会、料理教室、介護・介助の講習や研修会、見守りと声かけ運動、安否確認、青色防犯パトロール、防災訓練、防犯教室、各種講座、交通安全協賛
 - ・子どもに良い思い出になるような体験事業……農業体験、川・野山・林間学習体験、食育研修、親子研修
 - ・子育て支援……若者が子どもを産み育てやすい環境づくりの支援
- ② 住民が絆を深める伝統ある行事の継承と地域文化を大切にする地域
 - ・伝統ある行事……秋まつり、盆踊り大会、運動会、ウォーキング大会、とんど焼き&バザー
 - ・地域文化……鴨山焼き体験、蕎麦打ち体験、しめ縄作り体験、豆腐作り体験などの体験事業
 - ・各団体活動の充実……連合自治会の活動拠点づくり、粕淵地区社会福祉協議会、老人会、婦人会、体育協会、食生活改善推進協議会
- ③ 活気があり、明るく魅力のある地域
 - ・明るく楽しい地域づくり……島根はっぴいこーでいねーたー支援、空き缶拾い、花いっぱい運動、桜公園整備、あいさつ運動、憩いの場づくり、自治会再編の検討、街部と周辺部との交流事業
 - ・商店街を活用した地域づくり……展示会、町歩き、フリーマーケット、空き店舗の活用
 - ・観光案内所としての取り組み……観光情報の発信
- ④ U・Iターン者が住みたいと思う地域
 - ・出身者や外部に向けた情報の発信・提供……機関誌発行、定住・U・Iターン支援、子育て支援、産業・雇用・起業支援等情報の発信・提供





吾郷地域

連合自治会

文化伝承活動の活発な吾郷 とおおち山くじらと キヤッチフレーズ



地域の資源

【自然】

巨木、青杉遊歩道、棚田、蛸、カジカ

【産業】

おおち山くじら関連

【人・団体】

地域婦人会、青吾会（地芝居）、乙原舞子連中（神楽）、かすみ草の会（踊り）、青色パトロール隊

【歴史・文化】

文化祭等の文化活動、シャギリ等伝統芸能の継承活動



地域の課題

- ・過疎化、高齢化の進行
- ・空家、耕作放棄地の増加
- ・買い物、通院が不便
- ・自治会組織活動のマンネリ化
- ・農業受託者等の限界
- ・吾郷小学校跡地の活用方法がない



地域データ

人口／602人
 (男 289人、女 313人)
 高齢化率／41.0%

地域の将来像

- ・文化活動や伝統芸能の活発な地域
- ・婦人会活動の活発な地域
- ・おおち山くじら産業に力を入れる地域



行動計画

- おおち山くじら関連事業の振興による地域の活性化と若者の定住
 - ・婦人会を中心とした縁結び活動
- 文化活動、地芝居、神楽等伝統芸能の継承活動
 - ・文化祭に合わせた活動発表
- 安全・安心の地域づくり
 - ・児童、生徒、高齢者の見守り活動
- 地域環境整備活動
 - ・草刈り、缶拾い、花の植栽
- 連合自治会のあり方を考える
 - ・若者も参加できる場面を増やす
 - ・人材育成





君谷地域

連合自治会

■ キャッチフレーズ
“過疎を逆手にとって、希望のもてる村おこしを！”
みんなで楽しむ

地域データ

人口/348人
(男 169人、女 179人)
高齢化率/54.3%



地域の資源

【歴史文化】

伝統芸能の神楽、しゃぎり、盆踊り、とらへい、高齢者の技術

【産業】

農地、原野、山の木材、竹、薬草、瓦原料、養蜂の蜜源、
久喜原振興会の杵つき餅の販売、加工

【環境】

美しい自然、明神岩、君谷川、三瓶山が一望でき、360°星空を見渡せる大邑農地戸谷団地

【人・団体】

くじみ会、にこっと会、万寿会、福寿会、地頭所神楽団、青パト隊

【その他】

邑智園、郵便局



地域の課題

- ・ 猿、猪の被害が増えており農業の意欲が減退し、後継者不足もあり耕作放棄地が増えている
- ・ 君谷を結ぶ生活道路（県道別府川本線）が狭く、危険箇所も多く通行に不安である
- ・ 高齢化により独居世帯や空き家が増えている
- ・ 空き家が老朽化して危険な家屋がある
- ・ 学校、保育所、商店、病院がなく若年者の定住が少なくなっている
- ・ 地域住民の集う場所が少なくなった
- ・ 買物や病院への通院する際の交通手段が不便である
- ・ 子どもと地域のふれあいが少なくなった

地域の将来像

- ・安心して住める魅力ある地域
- ・住民が助けあい知恵を出し合う地域
- ・若い人が住みたいと思える美しい里
- ・伝統文化を守る地域



行動計画

- ・秋の収穫祭の開催により地域一帯感を色濃くする
- ・グラウンドゴルフ、ウォーキングなど運動を通じて地域の交流を増やす
- ・「花とみつばちの里づくり」の養蜂事業の定着と荒廃農地の解消
- ・移動支援により地域内の交流と見守り活動の実施
- ・安心して過ごせるネットづくり
- ・緊急連絡網の作成など地域が安心して暮らせる青パト隊によるパトロールの実施
- ・しめなわづくり、しゃぎり、盆踊り、とんど焼きなどを行い、伝統文化を継承する





別府地域

連合自治会



地域の資源

【自然環境】

蛍の里、石見銀山やなしお道、別府八幡宮大杉、尻無川、大邑農場、寺谷高原牧場、花街道

【生活・文化・歴史】

石見銀山やなしお道史跡、中国自然遊歩道、しゃぎり、盆踊り、十王堂史跡跡、版築工法跡、山根家の饅絵、別府合戦、忍崩れ尼子、小松地城跡、城山、花田植え、郷土力士の碑、箱茂のお松伝説、やなしお道山野草

【人・団体・企業】

NPO法人別府安心ネット、青色防犯パトロール隊、デイサービスやすらぎの里別府、放課後児童クラブやすらぎ、亀生会、松青会、テナクルズ、子供会、小松地営農倶楽部、山興緑化、有機の美郷、寺谷高原牧場、西楨牧場、尾原牧場、尾原養殖場

【食】

寺谷おかあちゃん味噌、銀路、錦路、樋ヶ蕎麦、どじょう、大麦若葉、樋ヶ椎茸、てっぺん米別府、やなしおの里地元野菜等産直市

【交流】

共育ツーリズム、銀山街道

【活動】

ホタル祭り、花田植え、産業文化祭、銀山ウォーク、農家体験共育ツーリズム、しゃぎり奉納、盆踊り夏祭り、ふれあい学級、神楽伝承

地域の課題

- ・高齢化による地域保全の取組みが危惧される
- ・自治会の年代構成が極端
- ・地域内にあった学校・保育所・農協・ガソリンスタンド等無くなり基本生活が脅かされてきた
- ・耕作放棄地が増え、猿・猪・雀等が、民家人間近くまで来るようになり農作物の被害が増えた
- ・地域住民が年2回から3回程度しか逢わない人がほとんど。お悔やみのことなど隣の集落でも情報が入らないことがある・・・地域コミュニティ能力の低下
- ・地区役員の固定化……行政等に出向くことを若者が嫌がっている
- ・葬儀など他地域から手助けを行わないと行われない自治会がある
- ・自治会を核として集落支援員・NPO法人各種団体等情報を共有化する事務所がない

■キャッチフレーズ

来て満足・住んで満足

心かよわせ笑顔大好き

ふるさと別府

ふるさと別府

地域データ

人口/342人
(男 168人、女 174人)
高齢化率/40.6%

地域の将来像

- ・自治会・NPO・集落支援員 各種団体情報共有化した地域
- ・共育ツーリズム等農家体験学習による交流人口の拡大・農家補助収入生きがいを軸とした地域
- ・既存農産物加工及び品質向上販売経路の拡大等による収入・雇用の確保ができる地域
- ・既存農産物販売所の見直し等による外貨獲得 地産地消による地域内経済の循環ができる地域
- ・子どもたちが愛郷心をもてるイベント地域学習の開催により将来的定住推進が望める地域
- ・空き家等を利用して子育て世代の情報交換及び交流の場 働くお母さんたちが住みたくくなるような地域
- ・近隣の地域や出身者など色々な地域と交流して賑わいの地域
- ・イルミネーションを復活させ、地域の活性化と高齢世帯の安否確認システム皆が安心して暮らせる地域
- ・6次産業づくりによる雇用商品販売の拡充が行われる地域



行動計画

- ・自然
石見銀山やなしおウオーク、ホテルの里、別府八幡宮など活用保全しながら行う郷土愛、世代間交流のふれあい、地域内外情報発信
- ・生活文化歴史
花田植え、秋祭り、十王堂史跡跡、版築工法、山根家の鍔絵等学習等、次世代への伝承・食既存資源利用、6次産業への取組み
- ・情報
ホームページ、FB、SNS活用による情報発信、特産品等の販売
- ・施設
建設予定の小さな拠点づくり事業に、金融機関・農産物販売・世代間交流スペースを設ける
- ・組織
自治会、NPO集落支援員 情報を共有するため事務所を設ける
- ・農地
耕作放棄地の再生、景観作物植栽、営農組合活動推進による雇用確保





比之宮 連合自治会



■ キャッチフレーズ
ふれあつて 花の咲く
安心の比之宮里山づくり

地域の資源

【人・団体】

- 地域住民……協調性が高く、まじめで実直。責任感の強い人が多い
- 元気な高齢者の経験と技術
- 元気な地域団体……寿光会、婦人会、蟠龍倶楽部、フレンド比之宮、子ども会育成会、獺の会、ひじきドリーム、ファームむらじ、地域おこし協力隊

【産業】米、野菜、ホンモロコ、ポポー、ふれあい農園、使われていない農地、木、竹、雑木、三椏、楮

【歴史・文化】扇踊り、田立建理根命神社、唐溪山西光寺、山南城址

【自然】蟠龍峡公園、桜公園

【景観・環境】草刈アート

【祭事・行事】豊作祈願奉納神楽（5月）、サマーフェスティバル in 蟠龍峡（8月）、盆踊り（8月）敬老会（9月）、運動会（10月）、例大祭奉納神楽（10月）、収穫祭奉納神楽、楽市・楽座（12月）、クリスマスイルミネーション（12月）、とんど（1月）、ふれあい祭り（2月）

【施設】交流センター、公民館、屋内ゲートボール場、町民広場、旧校舎、空き家、比敷のツリーハウスと竪穴住居、とまり木（サロン）、山野茶の製造施設

【その他】ホームページ、Facebookページ、比之宮のキャラクター蟠龍くん

地域の課題

- 1、暮らしの不安；老後、収入、病気、独居者・高齢世帯の増加、非常時（災害時）、詐欺にあう
- 2、暮らしの不便；買物、病院、通院、交通手段、金融機関
- 3、暮らしの負担；食費、医療費、交際費、行事が多い会の役につくこと
- 4、人口、子どもの減少；子ども同士、世帯間の交流の場が少ない
- 5、仕事場がない
- 6、農地；耕作放棄地、担い手不足、後継者がいない
- 7、高齢者の自動車やバイクの運転の危険性
- 8、家の周りの除雪
- 9、街灯が少ない
- 10、住宅の裏山の山崩れ
- 11、空き家；倒壊の恐れ、景観が悪い



地域データ

人口/306人
(男 147人、女 159人)
高齢化率/54.6%

地域の将来像

- 1、比之宮地区に暮らす一人ひとりが、元気で生きがいを持ち、いきいきと安心して暮らし、比之宮に住んで良かったと実感し、笑顔があふれる地域
- 2、個々の不安や心配事を地域みんなの課題として共有し、みんなで考え、話し合い、解決していく地域
- 3、一人ひとりの生き方や暮らしを理解し、お互いを認め合い、支えあい、声を掛け合い、助け合いのある地域
- 4、若者定住住宅や空き家を活用し、若い人が暮らしやすく、子育てしやすい地域。自分もここで子育てしたいと思える、自慢できる地域。若い人が生活でき、子どもの声が聞こえる地域
- 5、出身者や近隣の人、都市との交流が盛んな地域
- 6、若い人の仕事としての農業を振興し、米、野菜、ポポーなどを特産品化し若い人が暮らせる地域
- 7、子どもから高齢者まで、公民館の様々な活動(運動や食育、趣味、教養を高める学習など)に積極的に参加し、交流を深め、皆が元気にいきいきと暮らす地域



行動計画

- 暮らしの不便さを解消；買物、通院などの支援
- 将来の不安の解消；老後の不安要因を探り検討、農業による収入の方策を検討
- 暮らしの負担の軽減；自給自足の推進（食費）、健康づくりの推進（医療費）
 - ・地域行事への参加意識の変革（ボランティアであり強制しない）と、役職のあり方（役員が活動の主体ではない）を共有していく
 - ・自治会選出の役員2名のうち1名はなるべく女性の役員を選出する
 - ・連合自治会の各部の活性化を図る
 - ・若者定住住宅のニーズを把握し、要望があれば若者定住住宅建設を要望していく
 - ・布施小学校及び宮内小学校卒業の出身者と比之宮地区住民を結ぶパイプを作り、ふるさと比之宮へ関心を持ってもらい、交流を進める
 - ・近隣（布施地区）や都市との交流を振興し、将来、Uターン者を増やしていく
 - ・比之宮出身でない人にも「比之宮応援団」となってもらおうよう協働していく
 - ・「比之宮瓦版」を充実（行事への参加呼びかけ、情報提供）し、出身者へ送付
 - ・元気で長生きするため、公民館活動（運動、食育、交流）を推進する
 - ・診療所への受診、公民館活動への参加など、地域内で移動がしやすい体制づくりを行う
 - ・交流センターおよび公民館と密接な連携、共同により、コミュニティ計画の実現に努める
 - ・日常の暮らし（草刈、農作業全般、買い物など家事全般など）をサポートする組織づくり
 - ・災害など非常時にそなえた対策の組織化を図る
 - ・使われていない農地を無農薬、減農薬、無肥料による米や野菜の栽培に活用する



都賀西 連合自治会

■ キャッチフレーズ
よつとんで
ふれあって
都賀西

地域データ

人口／235人
(男119人、女 116人)
高齢化率／38.3%



地域の資源

【自然】

雄大な江の川と天瀬

【歴史文化】

鉄の発掘現場、角谷取水口から導水路、用水路等の歴史、丁状跡、尼子陣床跡、都賀西神楽、お寺

【産業】

食品加工による6次産業

【暮らし】

高齢者の技能と知恵

【景観】

大埜の展望台からの自然景観、比較的平坦な田園地帯

【祭事】

祭り、楽打ち

【環境】

学校施設

地域の課題

- ・ 少子高齢化、過疎化による人口の減少に伴う空き家の増加
- ・ 農家の高齢化の進行による担い手不足、農地の荒廃化
- ・ 病院、金融機関等が遠方にあり不便
- ・ 緊急時（災害等）の避難が困難



地域の将来像

- ・子どもからお年寄りまでの交流活動等が盛んな地域
- ・地域内の各種団体と連携して交流の場づくりを柱として活気あふれる地域
- ・定住の促進を推進し、にぎわいのある地域
- ・豊かな田園地帯を保持する地域
- ・安心して暮らせる地域



行動計画

- 1、安心で安全で笑顔あふれる地域づくり
 - ・非常時の安全体制の確保と弱者支援を第2期においても継続して取り組む
 - ・「ときわ会」・「婦人会」・「西友会」と連携しながらキャッチフレーズに恥じない取り組みを継続する
 - ・交通弱者(高齢者等)に対する支援対策等を今後の課題と位置づけて、実現できる方策を検討し、実践活動を行う
 - ・今後の重要な課題として、各単一自治会(組)の昔からの活動内容を見直し、統合再編を検討する
- 2、定住(U・Iターン)の促進及び空き家の利用管理
 - ・人口増1%戦略を推進する
 - ・年々増える傾向にある空き家の有効利用が定住対策に生かせないか、今後の検討課題として取り組む
- 3、農地の保全対策に基づく産業
 - ・担い手の確保策及び集落営農組織等の研修会に積極的に参加する
 - ・遊休農地対策を強化するため、波及効果のある農作物の振興を図る
- 4、伝統芸能と交流の輪づくり
 - ・「神楽保存会」や「都賀西子ども神楽」などの伝統芸能やまつりなどの取組み支援を継続し、都賀西連合自治会の活力源とする





上野 連合自治会

共に支え合い日々 笑顔の上野づくり

■キヤッチフレーズ



地域の資源

【自然】

川遊びに適した新造寺川、飯谷の枝垂桜、後谷の大歳桜

【歴史文化】

お寺

【景観】

田の原展望台からの素晴らしい眺望、ガニ山公園、里山、棚田、シャクヤク園

【人】

わら草履作りの名人、田植え唄の名人、陶芸家

【祭事】

祭り、楽打ち

【環境】

休耕田

【暮らし】

癒しのある人々の暮らし

【産業】

農業、道の駅を活用した産物



地域データ

人口/171人
(男 78人、女 93人)
高齢化率/53.8%

地域の課題

- ・高齢化により、農地の維持が難しくなりつつある
- ・急傾斜地に近接した住宅が多い
- ・空き家対策
- ・獣害対策

地域の将来像

元気で絆の強い住みやすい地域



行動計画

- ・飲み会など人が集まりやすいイベントを増やし、コミュニケーションを形成する
- ・技や祭りなどを継承していく
- ・都賀本郷地区と一緒に集落営農に力を入れる





都賀本郷

連合自治会

和と輪でつながる明るい本郷

■ キャッチフレーズ

地域データ

人口/318人
(男 136人、女 182人)
高齢化率/55.0%



地域の資源

【自然】

江の川、くじら石

【観光】

鮎の釣り場、竹灯籠

【文化】

栗打ち等伝統文化、松尾山八幡宮、竹灯籠

【食】

農地の再利用。(耕作が不可能となった田畑の有効活用)

【人・団体】

本郷友の会

【環境】

まとまった農地、空き公共施設、田舎らしい風景、現在ある拠点施設

地域の課題

- ・ 少子高齢化により、清掃活動・農地保全が難しくなってきた
- ・ 講演等・各種行事への参加が少ない
- ・ 空き家、公共施設の廃館が多く、景観を損ねている
- ・ 持続可能な年齢構成になっていない
- ・ 高齢化、独居世帯の増加
- ・ 販売店、交通手段の減少により買物や通院などの移動が困難
- ・ 高齢化の進行による耕作放棄地の増加・竹林の拡大及びイノシシ等の獣害
- ・ 地域住民のたまり場的な常設の地域交流施設がない(誰もがいつでも気楽に集まれる場所)
- ・ 人家はまとまっているが、組織力・団結力に乏しく、協調性に欠ける
- ・ 人口減による、神社・寺の閉院・廃寺が予想される
- ・ 役員・事業参加者の固定化
- ・ 葬式・通夜の運営(世帯1名以上でないと厳しい)
- ・ イベントの企画・運営(ただ楽しいだけのイベントでなく目的と効果をもたらせるもの)
- ・ 高齢化の進行・担い手不在により、連合自治会・単位自治会及び各種団体において行う事務的作業等が難しくなってきた

地域の将来像

- ・情報の共有が進んだ地域
- ・防災意識が高く、防災対策の確立された地域
- ・高齢者の、安心・安全対策が図られ、相互扶助が確立した地域
- ・子どもたちが愛郷心を持って育つ地域
- ・伝統文化の継承と新たな取り組みを展開する地域
- ・共助の意識が高い地域
- ・連合自治会での葬儀の実施
- ・若者の意見を受け入れる体制をつくる地域
- ・乳幼児から青年層が活力を持てる地域
- ・農地保全が確立された景観豊かな地域
- ・若者定住住宅など、子育て世代家族にとって魅力的な地域
- ・すべての世代が、住んでいることに楽しみや誇りを感じられ、笑顔で暮らせる地域
- ・地域拠点（小さな拠点）を中心とした、「動」のある住民主体のコミュニティ



行動計画

- ・地区防災計画の策定・防災訓練等の実施により、災害に強い地域を目指す
- ・愛郷心をもった子どもの育成と若者世代の意識づけの実施
- ・自治集会所の利用拡充
- ・高齢者世帯・労力不足等の共助活動
- ・親切心なる声かけ・あいさつの推進
- ・地域情報誌の発行と充実
- ・誰もが気楽に立ち寄れる場、地域の核となる地域交流拠点施設の設置検討
- ・男女共同参画を推進し、女性が元気になる地域を目指す
- ・高齢者世帯・買物弱者の方に買物を送り届ける地域を目指す
- ・見守り隊の充実を図るため、美郷町や民生委員との組織づくりの構築を図ることで安心・安全で暮らしやすい地域を目指す
- ・連合自治会を中心として、自治会の在り方や共助意識の高揚、イベントの充実等推進できる連合自治会の組織強化を図る
- ・連合自治会主導のデマンドバス等、交通システムの構築された地域づくりを進める
- ・住民主体の販売店の構想を協議する
- ・農地の組織管理化を図り、担い手の育成と農業入植者の促進を図る
- ・空き公共施設の利活用計画の作成
- ・若者定住住宅建設の推進
- ・世代間交流が盛んに行われるような企画づくり
- ・生活機能・生活交通・地域産業の確立に取り組む。そのための人の配置を含めた活動拠点づくりを進める





長藤 連合自治会

一人ひとりがみな主役 活力みなぎるながと ■ キャッチフレーズ



地域の資源

【自然】

江の川及び支流に生息する生物（鮎・ウナギ・カジカ・ヤマメ・蛍・オオサンショウ魚）

【環境】

道の駅「グリーンロード大和」 屋内ゲートボール場 学校施設 集会所

【景観】

大浦橋、大和大橋周辺の自然環境

【歳時】

祭り 楽打ち

【産業】

農業、加工品

【人・団体】

藤和クラブ

【その他】

耕作放棄地 空き家

地域の課題

- ・ 高齢化の進行
- ・ 耕作地の維持が困難
- ・ 次の世代を担う人材が少ない
- ・ 空き家の増加
- ・ 葬祭の運営が困難

地域データ

人口／162人
(男 75人、女 87人)
高齢化率／40.1%



地域の将来像

- ・ 住み慣れた地域、ともに支え合いながら安心して心豊かに暮らせる社会
- ・ 道の駅周辺を核とした活気あふれる地域
- ・ 美しい農村風景
- ・ U I ターン者が増える地域



行動計画

- ・ 伝統芸能「楽打ち」の継承
- ・ 若者定住住宅の誘致
- ・ 独居、高齢者世帯を見守るサポート体制づくり
- ・ 交流の集いを継続する
- ・ 耕作放棄地への景観作物の植栽
- ・ 集落営農組織の育成
- ・ 農地管理システムの導入
- ・ 6次産業の振興（設備をつくる、3品目を製造する、研修を行う）
- ・ 広報紙の継続





潮・曲利

連合自治会



地域の資源

【人】

若い力…うしおクラブ、高齢者の力…参志会

【自然】

二多合谷川、今山川の溪谷、桜、蛍、江の川

【施設】

潮温泉大和荘、バカンスハウス、親水公園、遊覧船、福祉施設、農村広場

【文化・芸術】

中原芳煙



■ キャッチフレーズ

ひとりひとりひとりが生きがいと
安らぎを感じられる
地域づくりをめざして
くやっぱり 潮・曲利がええなあ

地域データ

人口／145人
(男 64人、女 81人)
高齢化率／47.6%

地域の課題

- ・過疎化、高齢化が進んだことによる独居老人、休耕田、空き家が増加している
- ・バス、JRなど公共交通が不便である
- ・近隣に診療所はあるが、総合病院まではかなりの距離がある
- ・自然や施設など良い資源があるのに活用しきれていない

地域の将来像

【人口目標】2015年11月現在 118名 ⇒ 2026年 91名

- ①連帯感のある地域
- ②若者や女性が活躍する地域
- ③安全・安心が約束された地域



行動計画

その1 みんなで頑張ること

【人】地域ぐるみでの子育てと高齢者の見守り

- ・子ども会育成会活動の復活
- ・高齢者との交流、見守り

【自然】潮・曲利の自然の良さを地域内外に発信

- ・親水公園の活用など、子どもがのびのびと遊べる環境づくり
- ・桜並木を活用したイベント
- ・ミニウォーキングコースの設定

【施設】施設や組織の連携により安心・安全なネットワークづくり

- ・自治会と公民館が連携し、人材育成、文化事業、地域の憩いの場づくりを推進
- ・自治会と福祉施設が連携し、福祉教育、防災拠点としての機能強化を推進
- ・潮温泉大和荘の利活用
- ・若者定住住宅建設の働き掛け

【文化・芸術】地域の文化・伝統を次の世代に

- ・納涼祭、秋祭りなど、多世代での取り組み
- ・注連縄、たくりの結び方など、伝統の技や知識の継承
- ・郷土の誇り、中原芳煙

その2 ひとりでもできること

- 地域行事への積極的な参加
- 地元商店、企業の利用
- 笑顔であいさつ
- 明るく、自立した生活（歩く 楽しむ 感謝する）





都賀行 連合自治会

みんなの声が聞こえる 元気な都賀行

■キヤッチフレーズ

地域データ

人口/218人
(男 108人、女 110人)
高齢化率/41.7%



地域の資源

【人】

老人会会員数増と若年化（廿日会、ほっと水玉、明老会、高梨協議会）

【環境】

公民館・隣保館・ゲートボール場の活用

【文化】

秋祭り・盆行事の伝承

【自然】

江の川・猪之谷川のホタル、大槇谷溪谷

地域の課題

- ・積雪時の長時間停電による孤立世帯の対策と高齢者住宅の除雪
- ・空き家の増加
- ・高齢による交通弱者の増加及び買い物難民の増加
- ・携帯電話の不感地域解消
- ・少子化により子供を主にした行事が計画しにくい
- ・江の川などの立木が繁殖し美観を損ね閉塞感が生じている



地域の将来像

穏やかに暮らせる都賀行



行動計画

- ・自治会の下部組織である各種団体等による組織力の活用
- ・軽スポーツ大会の継続
- ・携帯電話の不感地域解消のため、要望を継続して行う
- ・独居老人がとじこもりにならないように健康教育をする
- ・連絡網作成の検討

